

カーボン・オフセットとイベントに関する
タスクフォース活動報告書

2009年11月

カーボン・オフセット推進ネットワーク(CO-Net)

目次

1.	タスクフォース設置の背景	3
2.	タスクフォースの目的	3
3.	活動の内容	4
4.	カーボン・オフセットイベント事例集	6
5.	イベントにおけるカーボン・オフセットの効用	6
6.	イベントにおけるカーボン・オフセットの課題	6
7.	カーボン・オフセットイベントの手引き	7
8.	むすびにかえて	8

1. タスクフォース設置の背景

市民・企業・NGO/NPO・地方自治体・国などが低炭素社会を構築するための国民運動の一つとして、カーボン・オフセットの取組は社会的に大きく注目されている。G8 北海道・洞爺湖サミットの開催や、京都議定書第一約束期間の開始などを契機に、2008 年にはカーボン・オフセットの商品やサービス等が続々とあらわれている。このような取組を一過性のブームとせず、より長期的な視野に立って社会に定着させることは、幅広いステークホルダーの参加を通じた低炭素社会構築のために大変重要なことである。

カーボン・オフセット推進ネットワーク(CO-Net)のカーボン・オフセット推進委員会においては、このような観点から、オフセットの普及啓発効果の高い「イベント」に着目をして、メンバーにおける活発な議論を行うため、「カーボン・オフセットとイベントに関するタスクフォース」を立ち上げ、5 回にわたる会合を開催した。

2. タスクフォースの目的

「カーボン・オフセットとイベントに関するタスクフォース」（通称：イベント TF）は、オフセットを活用する民間企業や地方自治体の実務レベルの担当者が、過去に開催したイベント・オフセットの事例を紹介し、それらが持つ環境負荷低減や社会的貢献を行う効果や、実施の上での課題等の情報共有を行うとともに、イベントをオフセットする際の考え方や留意点等についても紹介を行った。

カーボン・オフセットの取組の現状を把握し、その効用や課題を洗い出すことを目的として、会員がこれまでに開催をしたイベントを例に分析を行った。それらを基礎として、「カーボン・オフセットイベント事例集 Ver.1.0」を整理した。

また CO-Net が目指すカーボン・オフセットの推進という観点から、実務を担当する関係者がイベントとオフセットの取組の方法を理解することを助ける目的として、「カーボン・オフセットイベントの手引き(Ver.1.0)」を作成し、会員のみならず社会に広く公表をすることとした。

本タスクフォースの開催期間中においても、会員各社でカーボン・オフセットを活用したイベントを開催した例も数件あった。今後、同様の取組がなされる際には、本タスクフォースの議論とアウトプットが生かされることが期待される。

3. 活動の内容

イベント TF は 2009 年 5 月～9 月に 5 回にわたり開催された。

イベント TF の活動のフロー

<p>5 月 25 日 第 1 回 TF : プレインストーミング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケーススタディ等を基にした検討課題の洗い出し
<p>6 月 15 日 第 2 回 TF : 各論となる課題の議論その 1 (コミュニケーション／情報発信／その他のイベントが発揮する効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者・オーガナイザ間のコミュニケーションのあり方は？ GHG 以外の環境・社会配慮は？
<p>7 月 7 日 第 3 回 TF : 各論となる課題の議論その 2 (技術的事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GHG 算定の技術的ポイント (バウンダリの設定、係数の整理、LCA の考え方)
<p>7 月 31 日 第 4 回 TF : アウトプットについての議論その 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例集・手引書などの支援ツールの策定等
<p>9 月 4 日 第 5 回 TF : アウトプットについての議論その 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイナルプロダクト前のご報告と、外部発信の方法について

第 1 回 TF : プレインストーミング (2009 年 5 月 25 日)

イベント TF 設置の目的と議論のロードマップに関するビジョンの共有と、活動の取組についてのブレインストーミングを行った。

また、下記の会員がそれぞれの取組について報告を行った

鈴与ホールディングス株式会社	主催・協賛会社
株式会社電通	イベント運営会社
株式会社リサイクルワン	プロバイダー会社

第 2 回 TF: コミュニケーション／情報発信／その他イベントが発揮する効果

(2009 年 6 月 15 日)

イベントが持つ主要な機能である主催者と参加者等のステークホルダーとのコミュニケーションなどについて取り上げ、より効果的な情報発信の方法や、イベントの内容・オフセットを通じた低炭素社会への取組の普及などについて紹介を行った。また、カーボン・

オフセットを通じた環境への取組が、イベント運営側と来場者との間の一体感を高める効果があったことなどについて、議論を通じて会員からのサクセスストーリーも紹介された。

カーボン・オフセット推進ネットワーク (CO-Net)事務局	(サミットの事例を紹介)
一般社団法人モア・トゥリーズ	プロバイダー会社
株式会社博報堂	イベント運営会社

第3回 TF: オフセットの対象となる排出の算定方法等の技術的事項(2009年7月7日)
イベントにおいてカーボン・オフセットを用いる際に主要な課題となる排出量の算定について、事例や算定の方法を取り上げ、情報共有を行った。

横浜市	主催・協賛団体
株式会社ソニー・ミュージック・コミュニケーションズ	イベント企画運営会社
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	コンサルティング会社 (算定方法の考え方を紹介)

第4回 アウトプットに向けた議論(その1)(2009年7月31日)

会員へのヒアリングやアンケートをもとに、TFのアウトプットとして事例集に加えて実務者向けの手引書についても整備することとした。また、事例については、イベントTFが開始された以降に開催された案件が取り上げられ、最新の取組と時系列ごとに作業のステップや取組の内容が紹介された。

ジーコンシャス	プロバイダー会社 (発表の企画では主催者)
郵便事業株式会社	主催・協賛団体

第5回 アウトプットに向けた議論(その2)(2009年9月4日)

第1回~第4回までの議論の状況と、会員へのアンケート・ヒアリングの結果を基に、本タスクフォースの活動報告書案とそれらに添付される事例集・実務者向け手引書の案が議論された。

4. カーボン・オフセットイベント事例集

前述の通り、第1回～第5回までイベントTFにおいて会員各社が紹介した事例を取りまとめたものである。記入フォーマットは、実務者がカーボン・オフセットイベントが完了したことを適切に公表できるよう、情報整理をする上で参考となるように作成した。（添付資料「カーボン・オフセットイベント事例集(Ver.1.0)」参照）

5. イベントにおけるカーボン・オフセットの効用

イベントタスクフォースにおいて紹介のあった事例（「カーボン・オフセットイベント事例集」参照）や、その他会員より寄せられた情報によれば、イベントにおいてカーボン・オフセットする際の効用としては、以下のようなものがあげられる

オフセットすることにより、イベントに伴う地球環境に対する負荷を低減しながら開催・運営が可能となる。

オフセットすることにより、参加者を中心に、低炭素社会構築推進のための普及啓発が促進される。

オフセットすることにより、イベントの社会的価値や主催者である企業等の社会評価の向上の効果がある

そのほか、コミュニケーションや情報発信・算定による取組においては、個別具体的なポジティブな効果が報告されており、これらから得られる教訓は極めて大きいと考えられる。

それらについては、本報告書の添付資料である「カーボン・オフセットイベント事例集(Ver.1.0)」や「カーボン・オフセットイベントの手引き(Ver.1.0)」(特にコラム部分)にまとめた。

6. イベントにおけるカーボン・オフセットの課題

カーボン・オフセットを用いたイベントを推進するためには、現在存在している課題の克服を行うことは極めて重要である。とりわけ、我が国にとって新たな取り組みであるカーボン・オフセットについては、その手続きや作業内容についても未確定な部分が多く、取組のレベル間についても一定ではない。

他方、オフセットについては主体的な取り組みであるため、フレキシブルに形を変化させながら取組が実施されることが通常であり、主催者・支援会社・プロバイダーなどがオフ

セットイベントの課題をよく理解して、アクションを起こすことがさまざまな意味で重要である。

本TFでの議論や事例発表（「カーボン・オフセットイベント事例集(Ver.1.0)」参照）を通じて挙げられた課題には次のようなものがある。

【オフセットについての理解について】

参加者などの社会一般がオフセットについて知らないことも多く、今後さらに普及が必要である。

オフセットを実施する参加者側での知見が十分でない。

オフセットを実施する主催者が参照すべき情報は存在しているものの、コンパクトにまとまっている資料がない。

【情報発信・コミュニケーションの方法について】

情報発信を行う媒体において、オフセットを含む地球温暖化の取組について掲載する適正な内容・ボリュームが分かりにくい。

【算定等の方法について】

データ等について収集する際のまとまった情報ソースが少ない（情報がバラバラなのでワンストップショップ的なものがあればよい）。

算定についてのよりどころとなる方法や標準的な手法が不明確（どのレベルまでやれば十分か）。

【その他】

オフセットのイベントの数がまだまだ少ない。

信頼性確保と手続上の柔軟性のバランスを取ることが重要である。

これらの課題を克服する一環として、手引書を整備した。実務者の知見を深め、社会全体での経験の蓄積を行うために、その他の課題についても、今後この手引書を更新することで対応していく。

7. カーボン・オフセットイベントの手引き

上記のとおり、事例集に加えて、実務的な観点からカーボン・オフセットの取組を支援する取組の一つとして、「カーボン・オフセットイベントの手引き(Ver.1.0)」を作成した。（添付資料「カーボン・オフセットイベントの手引き(Ver.1.0)」参照）

8. むすびにかえて

企業や地方自治体が開催するイベントにおいては、イベントにより発生するCO₂の排出等の環境負荷をできるだけ低減した形でその取組を行うことが社会での大きな流れとなりつつある。またイベントにおいて、参加者に対して環境問題、とりわけ地球温暖化についての取組をメッセージとして発信することも数多く行われている。

その中で、カーボン・オフセットをひとつのツールとして取り入れ、環境負荷の低減と、参加者をはじめとする社会の様々なステークホルダーとのコミュニケーションを積極的に行おうとするイベントが増加しており、これらを推進することは、カーボン・オフセット推進ネットワーク（CO-Net）が目指す低炭素社会の構築の観点から重要なことである。

「カーボン・オフセットとイベントに関するタスクフォース」においては、これまで会員を中心に取組が行われてきたカーボン・オフセットを用いたイベントの事例を題材に、より実務的な観点から、オフセットの効用や課題の抽出を行い、そのアウトプットとして、事例集と手引書を作成した。これらの議論やアウトプットが、今後カーボン・オフセットを通じてイベントの取組を目指す実務者の作業をより円滑にし、取組が普及する一助となることが期待される。

カーボン・オフセット推進ネットワーク（CO-Net）は、カーボン・オフセットの取組を始め、温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクト等を推進する民間企業や地方自治体からなるネットワークです。※50音順（11月9日現在）

1. 代表理事
 - 全日本空輸株式会社
 - 五嶋 八洲雄
 - 上席執行役員 CSR担当室長
2. 理事会
 - 旭化成株式会社
 - イオンリテール株式会社
 - オリックス株式会社
 - 鹿島建設株式会社
 - 鈴与ホールディングス株式会社
 - 全日本空輸株式会社
 - ソニー株式会社
 - 株式会社損害保険ジャパン
 - 株式会社電通
 - 東京電力株式会社
 - DOWAホールディングス株式会社
 - 丸紅株式会社
 - 三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 郵便事業株式会社
3. 監事会社
 - 株式会社トーマツ審査評価機構
 - 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
4. 一般会員会社
 - 株式会社アクトス
 - 株式会社EJビジネス・パートナーズ
 - 株式会社エコノス
 - 関西電力株式会社
 - カーボンフリーコンサルティング株式会社
 - 株式会社川島織物セルコン
 - 株式会社JACO CDM
 - ジーコンシャス株式会社
 - 住商インテリアインターナショナル株式会社
 - 住友林業株式会社
 - 積水化学工業株式会社
 - 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
 - 大成建設株式会社
5. テンプスタッフ・テクノロジー株式会社
- 東京海上不動産投資顧問株式会社
- 凸版印刷株式会社
- 日東紡績株式会社
- 日本エヌ・ユー・エス株式会社
- 社団法人日本能率協会
- 財団法人日本品質保証機構
- 株式会社博報堂
- 日立キャピタル株式会社
- ビューローベリタス ジャパン株式会社
- 福島ミドリ安全株式会社
- 富士フィルム株式会社
- 株式会社みずほ銀行
- 株式会社三井住友銀行
- 三田農林株式会社
- 三井物産株式会社
- 三菱商事株式会社
- 三菱UFJリース株式会社
- みなと環境にやさしい事業者会議
- 株式会社明電舎
- 有限責任中間法人モア・トゥリーズ
- 諸戸林業株式会社
- 株式会社ライジングコーポレーション
- 株式会社リサイクルワン
- 株式会社ローソン
- 地方自治体会員
- 青森県
- 高知県
- 静岡市
- 鳥取県
- 新潟県
- 福井県
- 港区（東京都）
- 横浜市（神奈川県）
- 宮崎県諸塚村
- 森林バイオマス吸収量活用推進協議会（足寄町・下川町・滝上町・美幌町）

カーボン・オフセット推進ネットワーク（CO-Net）

<http://www.carbonoffset-network.jp/>

所在地及び連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

Tel 03-5776-1223 Fax 03-5472-0145

Email info@carbonoffset-network.jp